日本義歯ケア学会
第３回　学術大会

プログラム・講演内容抄録集

日時　　平成 22 年 1 月 22 日 (土)

会場　　岩手医科大学循環器センター９F
　　岩手県盛岡市内丸 19-1

大会長　　鈴木哲也

事務局　岩手医科大学歯学部歯科補綴学講座有床義歯補綴学分野
〒 020-8505　岩手県盛岡市中央通 1-3-27
TEL:019-651-5111(内線 4112)
FAX:019-652-3820
mail:3rddenturecare@gmail.com
URL:http://www.jdenturecare.com/gakujutu/gakujutu_03/index.html

大会日程

11:00 ～ 12:55　理事会 (歯学部 4F 会議室)

12:30 ～　開場

13:00 ～ 13:05　大会長挨拶

13:05 ～ 14:25　特別講演

14:25 ～ 14:55　総会

15:05 ～ 17:20　一般口演

18:00 ～ 20:00　懇親会 (北ホテル 2F)

学会会場、懇親会会場案内

学会会場
岩手医科大学循環器センター 9F

〒 020-8505　岩手県盛岡市内丸 19-1
TEL：019-651-5111(代)

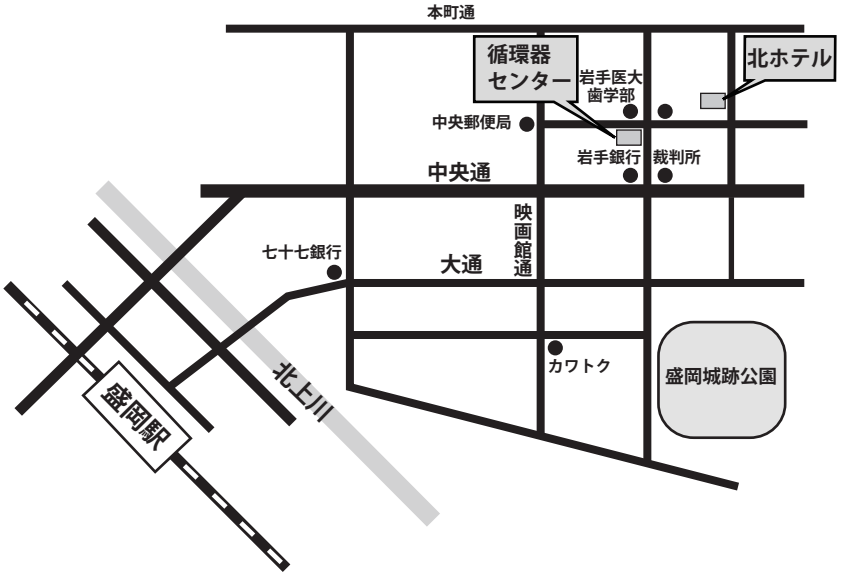
盛岡駅から徒歩 20 分

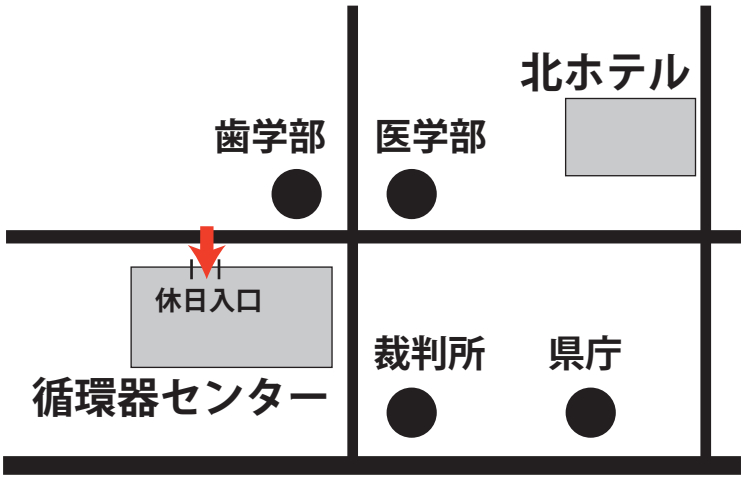
雪道は滑って危険ですのでタクシー、バス等をご利用ください。

バス：盛岡都市循環バス「でんでんむし」右回り岩手医大前、または左回り県庁・市役所前下車

懇親会会場
北ホテル 2F　窯 (かまど)

〒 020-0023　岩手県盛岡市内丸 17-45
TEL：019-625-2711





恐れ入りますが、正面玄関ではなく、休日夜間入口からお入りください。
入って右手のエレベーターで 9F にお上がりください。左手のエレベーターでは 9F まで上がれません。

学術大会参加の皆様へ

１．参加者は 9 階受付にて当日会費 1,000 円をお支払いください．年会費 3,000 円に関しましても同時に受け付けいたします．

２．入会希望の方は，受付に申請していただき入会金 1,000 円，年会費 3,000 円と当日会費をお支払いいただきます．

３．本学会は，日本歯科医師会生涯学習研修事業の認定を受けております．生涯学習研修カードをご持参ください．

４．発表ならびに講演中のビデオ・写真撮影は，発表者の著作権保護のため禁止致しております．なお，特別な事由がある場合は大会長に申し込んでください．

発表される先生方へ

一般口演発表

１．発表日時・会場

平成 23 年 1 月 22 日 (土)　　15:00 ～ 17:20

２．発表方法

1) 一般口演受付は 1 月 22 日 (土)12:00 ～ 14:00 の間，学会場そばの PC 受付で受け付けます．

2) 演者は発表 10 分前までに次演者席にご着席ください．

3) 座長の指示に従って，口演時間を厳守してください．

4) 口演時間は発表 7 分，質疑応答 3 分です．発表終了 1 分前と終了時にベルが鳴ります．

5) 発表の詳細は以下を遵守してください．

①発表データは 1 月 22 日 (土)12:00 ～ 14:00 の間，4 階第 3 会議室にて，USB フラッシュメモリで提出をお願いいたします．データ確認後試写をいたします．必ず予備にバックアップしたデータを持参してください．なお，時間内に提出が困難な場合，準備委員長宛にメールにてご連絡ください．

②発表方法は，PC 単写：Windows7，Microsoft Powerpoint 2010 にて行います．拡張子が ppt，pptx のファイルのみ有効となります．なお Mac は用意いたしませんのでご注意ください．下位バージョンで作製したファイルを Powerpoint2010 で開いた場合，文字の位置ずれ等起こる可能性があります．Powerpoint2010 にてあらかじめ動作の検証をお願いいたします．

③画面出力は 800 × 600 の XGA 出力となります．ワイド出力には対応しておりませんのでご注意ください．フォントは，　MS ゴシック，MS 明朝，Times New Roman などの Windows，Powerpoint 標準搭載フォントのみ使用可能です．特殊なフォント，外字等は使用しないようお願いいたします．

④表示枚数に制限はありませんが，別ファイルを読み込む形での動画と，音声の使用はご遠慮ください.

6) 質問者は，座長の指示に従い，所定のマイクで所属・氏名を述べてから，要領良く簡潔に質疑を行ってください.

座長の先生へ

口演の次座長は，20 分前までに所定の席 (次座長席) にお越しください.

プログラム

■ 11:00 ～ 12:55　理事会

注：理事会のみ、歯学部 4F 会議室にて行います.

■ 13:00 ～ 13:05　開会の辞 (大会長：鈴木哲也)

■ 13:05 ～ 14:25　特別講演

座長：鈴木　哲也 (岩手医大)

Ⅰ：電動歯ブラシの歯垢除去効果について

講師：高橋　英和 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科先端材料学分野)

Ⅱ：軟質リライン材、ティッシュコンディショナーおよび義歯安定剤の現状と課題

講師：村田比呂司 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科歯科補綴学分野)

■日歯生涯研修事業用研修コード：2608

■ 14:25 ～ 14:55　総会

プログラム

■ 15:05 ～ 15:45　一般口演セッション 1

座長：水口　俊介 (東医歯大)

■日歯生涯研修事業用研修コード：2608

1-1　義歯洗浄剤による義歯床用レジンからの Candida バイオフィルム除去効果の検討

○佐藤　薪，大島　朋子 *，前田　伸子 *，細井　紀雄 **，大久保　力廣

(鶴見大学歯学部歯科補綴学第一講座，鶴見大学歯学部口腔細菌学講座 *，鶴見大学 **)

1-2　市販義歯洗浄剤の義歯安定剤に対する除去効果の評価

○原田　佳枝，洪　光 *，濱田　泰三 *

(広島大学大学院医歯薬学総合研究科歯科薬理学，* 東北大学大学院歯学研究科口腔ケア推進開発講座)

1-3　活性酸素を用いた義歯の消毒方法について

○澤田　智史，小田切　憲 *，堀　紀雄，星　憲幸，浜田　信城 **，木本　克彦

（神奈川歯科大学顎口腔機能修復科学講座クラウンブリッジ補綴学分野，

* 神奈川歯科大学有床義歯補綴学分野，** 神奈川歯科大学感染制御学講座微生物学分野)

1-4　義歯洗浄剤成分としての二酸化塩素の殺菌効果の検討

○堀　智治，前田　武志，野村　雄二 *，貞森　紳丞，岡崎　正之 *，赤川　安正

(広島大学大学院医歯薬学総合研究科先端歯科補綴学，* 広島大学大学院医歯薬学総合研究科生体材料学)

■ 15:45 ～ 16:15　一般口演セッション 2

座長：貞森　紳丞 (広島大学)

■日歯生涯研修事業用研修コード：3102

2-1　フッ素系モノマーの添加が硬質リライン材の物性に及ぼす影響

○吉田　和弘，黒木　唯文 *，村田比呂司

(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科歯科補綴学分野，* 長崎大学病院)

2-2　セリシンパウダーの添加が義歯床用アクリルレジンの表面ぬれおよび曲げ強さに及ぼす影響

○ディリヌル・マイマイティサウット，洪　光 *，佐々木啓一，濱田　泰三 *

(東北大学大学院歯学研究科口腔システム補綴学分野 , * 東北大学大学院歯学研究科口腔ケア推進開発講座)

2-3　粘膜調整材の機能水による洗浄が色調安定性に及ぼす影響

○柏原　稔也，後藤　崇晴，内藤　禎人，市川　哲雄

(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部口腔顎顔面補綴学分野)

プログラム

■ 16:30 ～ 16:50　一般口演セッション３

座長：木本　克彦 (神歯大)

■日歯生涯研修事業用研修コード：2608

3-1　OCT の歯科臨床への応用

OCT を用いた義歯床用レジンと裏装材との接着における評価

○春日　祐太，星野　義人，井上　実，秋葉　徳寿，水口　俊介，小澤　総喜 *，角　保徳 *

(東京医科歯科大学大学院全部床義歯補綴学分野，* 国立長寿医療研究センター先端診療部歯科口腔外科)

3-2　簡易型脳波計を用いた義歯の機能評価 - 第２報 -

○石川　佳和，桝尾　隆一 *，大久保力廣 **，細井　紀雄 ***

(医療法人愛和会 桜川歯科医院，* 桝尾歯科クリニック，** 鶴見大学歯学部歯科補綴学第一講座，*** 鶴見大学)

■ 16:50 ～ 17:20　一般口演セッション４

座長：細井　紀雄 (鶴見大)

■日歯生涯研修事業用研修コード：3002

4-1　OHIP-EDENT 日本語版の信頼性と妥当性の検討

○佐藤　佑介，飼馬　祥頼，金澤　学，山賀栄次郎，平野滋三，水口　俊介

(東京医科歯科大学大学院摂食機能回復学講座全部床義歯補綴学分野)

4-2　老人施設での義歯清掃指導の報告

～ D-PCR を用いた義歯清掃指導～

○清水　望，遠藤　徹

(遠藤歯科医院)

4-3　高齢入院患者における咬合状態と摂食・嚥下能力

○ 岩佐　康行

(特定医療法人　原土井病院　歯科)

■ 17:20 ～ 17:25　閉会の辞，写真撮影

特別講演

座長：鈴木　哲也 (岩手医大)

「電動歯ブラシの歯垢除去効果について」

講師：高橋　英和

(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科先端材料学分野)

歯ブラシは代表的な口腔ケア用具である．以前は手用歯ブラシが主流であったが，最近は各種電動歯ブラシが市販され, 手の動きに障害がある患者さんには電動歯ブラシは効果的なものとされている．電動歯ブラシは刷毛部が反復運動や回転運動して刷掃するが，音波振動，超音波振動を利用したものも多く市販されている．音波歯ブラシは音波領域の振動数の反復振動を，超音波歯ブラシは超音波振動を，機械的振動と併用することで清掃効率の向上が期待されている．しかしながら , これら電動ブラシの刷掃効果がどのようなものであるかは十分に明らかではない．そこで，市販の音波歯ブラシ , 超音波歯ブラシの刷掃効果について，顎模型と刷掃試験機を用いて検討した．その結果，音波や超音波振動を用いることで単にストローク運動のみの刷掃よりも刷掃効果は優れている製品が多いが，刷毛部が接触しない歯間部のような部位の歯垢は除去されないことが観察された.

講師略歴

高橋　英和

1984 年　東京医科歯科大学大学院修了 (歯科理工学第 1 講座)
1987 年　昭和大学講師 (歯科補綴学第 1 講座)
1992 年　東京医科歯科大学講師（歯科理工学第 1 講座)
1994 年　東京医科歯科大学助教授（歯科理工学第 1 講座)
2007 年　東京医科歯科大学大学院准教授（先端材料評価学分野)
岩手医科大学非常勤講師（歯学部有床義歯補綴学分野）

特別講演

座長：鈴木　哲也 (岩手医大)

「軟質リライン材、ティッシュコンディショナーおよび義歯安定剤の現状と課題」

講師：村田比呂司

(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科歯科補綴学分野)

著しく吸収した顎堤や菲薄な粘膜、鋭利な骨縁をもつ患者の義歯製作には、ティッシュコンディショナーにより、床下粘膜を正常な状態に回復し、同時に得られたダイナミック印象面を緩圧効果の高い軟質リライン材でリラインする術式が、咀嚼機能向上の観点より有効である。これら材料の柔軟性の度合いや耐久性は使用される材質でかなり異なっており、理想的な粘弾性的性質と耐久性を有するティッシュコンディショナーおよび軟質リライン材は開発されていない。また対象とする口腔粘膜の粘弾性的性質もいまだ十分に解析されていない。一方、患者自身が薬局薬店で購入する義歯安定剤については、その有用性が次第に認められつつあるものの、本剤の味や持続性など改善すべきことは多く、理想的な材料が開発されていないのが実情である。また臨床エビデンスを創るため、本剤の臨床的有用性と問題点についてさらなる検討が望まれる。本講演では上述の課題を皆様と考えていきたいと思う。

講師略歴

村田比呂司

1986 年　九州歯科大学卒業
1990 年　広島大学大学院修了（歯学博士）
1990 年　広島大学歯学部歯科補綴学第二講座助手
1993 年　英国ニューカッスル・アポン・タイン大学歯科材料学教室留学
2004 年　広島大学病院 咬合・義歯診療科講師
2006 年　長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 歯科補綴学分野　教授